

かざね
四万十の風音

しんせん
森&川だより

秋が深まる八面山で登山体験学習（三校）

四万十川の支流で黒尊川及び目黒川源流域の森林である八面山や吊尾根の天然林は、野生生物やシイ・カシ林からモミ・ツガ林、ブナ林への植生の移り変わりなどつぶさに観察出来る良いフィールドです。

10月8日から28日にかけて四万十市立西土佐中学校と西土佐小学校、松野町立松野西小学校の3校44名の児童生徒を対象に八面山登山体験学習を実施しました。

それぞれの学校とも準備運動の後、登山口を出発し歩道沿いの樹木や草花、二ホンジカの食害などの学習をして約50分で八面山山頂（1,165m）に到着しました。

山頂では、高知県と愛媛県の県境や遠くに見える三本杭のすぐ右の山「横の森」に藩政時代に土佐藩と宇和島藩と吉田藩とがそれぞれの領地の境として杭を立てていたことから、それがいつのまにか「三本杭」という現在の山の呼び名になっていること、また、四万十川の支流黒尊川の源流点も近くにあり、昨年度高知県が行った調査で黒尊川の清流度（水平方向の透明性）はで降雨時期を除きおおむね14メートルを超えており、多様な水生動物の生息が確認され、源流域の森林が川本来の良好な清流を育てていることを説明しました。

その後、八面山吊尾根のブナ天然林へ移動して、「ブナ天然林の価値」や「森林のはたらき」などを説明した後、自然散策やネイチャーゲームの「カモフラージュ」や「木漏れ日キャッチ」などをして勉強しながら秋の一日を楽しみました。

下山後に児童生徒から、「学校での事前学習や登山を通して森林のはたらきやいろいろな樹木を知ることができました。ネイチャーゲームもとても楽しかったです。」また、「霧が晴れ九州が見えて嬉しかったです。」などの感想がありました。

この森林教室でブナの実を探したり、モミやケヤキなど木肌の異なる木の手触りを確かめたり、ミズメの木肌はサクラと似ているが樹液はサロンパスに似た匂いがすることや森の土や落ち葉を手で触れてみるとフカフカなことなど、体験や学習を通して児童生徒の自然や森林等への理解と関心が深まったと思います。

西土佐小学校



松野西小学校



西土佐中学校



秋の深まる八面山思い出スケッチ

しまんと黒尊むらまつりで「体験コーナー」を担当

11月9日、四万十市西土佐黒尊の黒尊親水公園で第14回目となる「しまんと黒尊むらまつり」が、自然との共生や地域の盛り上げを図る黒尊川流域の住民グループ「しまんと黒尊むら」と「四万十くろそん会議」の主催で開催されました。

当日は晴天に恵まれ、四万十市中村からの団体客など沢山の来場者で賑わいました。

当センターの「体験コーナー」では、沢山の老若男女がイスノキ製のマイ箸作りやヒメシャラなどの小枝や輪切り、ヒノキ板などを使ったクリスマス

スリース作りやサンタクロースやトナカイなどのキーホルダー作り、自由製作の壁掛け作りなどを体験していただき、木に親しんでもらうことができました。

会場では黒尊川流域の各地区の人達が地元の食材を活かしたイノシシ汁やシカの串焼き、ゆでツガニなどの販売や会場で杵餅つきの実演販売もあり、来場者が買い求めてはおいしいねと舌鼓を打っていました。また、西土佐みのり太鼓の演奏も行われ、その勇壮さに来場者も足を止めて見入っていました。

終盤のお楽しみのじゃんけん大会では勝者に地元の農産物や加工品などビックな景品が貰えるとあって参加者も見ている人も大興奮、笑い声が山間に響きました。

今年も会場は終日大賑わいで、秋が深まりつつある黒尊川流域での一日を満喫されました。

「体験コーナー」の様子



旧西ヶ方小学校でクリスマスツリーの置物作り



四万十市立西土佐小学校から生活の教育（地域発見に出かけよう）で、「木工体験を通してふれあいセンターや西ヶ方^{にしがほう}地域に親しみをもちたい。」と11月11日、二年生16名がふれあいセンターのある旧西ヶ方小学校にやってきました。

クリスマスも近いことから大王松の松ぼっくりをクリスマスツリーに見立てた置物作りをしました。

作り方を説明したのち、児童達が松ぼっくりに木の実などの自然素材やビーズ等で装飾し、サンタクロースやトナカイ、雪だるまや教会に切り抜いたヒノキ板に色ぬりをした後、ボンドでスギやヒノキの台座に貼り付けて作品が完成しました。

児童からは「貼る場所や使うものが沢山選べて頭の中で想像しながら作れたので楽しかったです。」「クリスマスに家に飾ります。」との感想をいただき、楽しみながら木材に親しんでもらいました。

今回の木工クラフト作りを通して、木の持つ温もりと素材としての木材の良さを十分に感じてもらえたものと思います。

西土佐小学校(旧西ヶ方小学校にて木工教室の様子)



松野西小学校で森林環境教育（土にすむ生物と水の土壌浸透実験）を実施

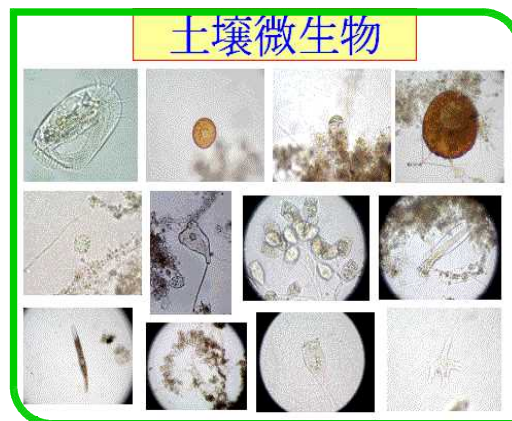
1月26日に松野町立松野西小学校四年生19名を対象に、第5回目となる森林環境教育で「土にすむ生物」と「水の土壌浸透実験」をしました。

最初に、「土にすむ生物」の座学で土の中の生き物の役割について説明しました。

土にすむ生物の観察では、事前に準備した土を顕微鏡で覗きながら肉眼では見ることのできない土の中の生物を見つけ出してはスクリーンにその姿を映してみんなで観察しました。この講義と観察を通して土にすむ生物の存在に気づくと共にそのはたらきを学習しました。

次に、「水の土壌浸透実験」で、山の模型を使って「木のある山」と「木のない山」を再現し、2班に分かれてじょうろに入れた水を雨に見立てて降らせて時間の経過と共にどういふ変化が出るのか実験・観察をしました。木や枯葉を通して出てくる水は薄い濁りで計量カップに溜まっていくのに対し、木も枯葉もない土がむき出しの模型からは先に濁った水が計量カップに一気に溜まる様子を目の当たりにし、家の模型が倒れて土が剥がれて緑色の底板が見えると、児童達から「土砂崩れだ」とざわめきが起こりました。変化の多い「木のない山」の模型と、変化が少なく安定している「木のある山」の模型を比較し、八面山登山（第4回目の体験学習＝森林環境教育）での木の根が地中深く土や岩を抱えしっかりガードしている様子や「森林の働きと水はどこから、水のゆくえ」（第3回目の座学＝森林環境教育）を思い返させて、水の土壌浸透実験で振り返りの学習としました。

最後に、児童から「実験で双方の違いが鮮明に出たので森林の持つ大切さがよくわかりました。」等の感想があり、森林環境教育を重ねて実施した結果、森林のはたらきや身近な自然の大切さ、山・川・海のつながりについての理解と関心を深めていると感じました。





座学の様子



顕微鏡で観察の様子



水の土壌浸透実験の様子



顕微鏡で観察の様子

第8回西土佐産業祭に『かんたん木工教室』で参加

12月1日（日）四万十市西土佐用井の西土佐中学校で第8回西土佐産業祭が開催されました。

会場には西土佐地域の特産品や四万十川流域のうまいものが勢ぞろい、更に児童生徒の書画展示や地元高校生のダンスなど各種ステージイベントの開催、地元農林水産品、手工芸品なども多数展示即売され、終日多くの来場者で賑わいました。

当センターも参加し、老若男女延べ300人以上がイスノキ製のマイ箸作りやクリスマスリース作り、ストラップやキーホルダー、置物などの小物作りなど（無料体験、かんたん木工教室）を楽しんでいただきました。

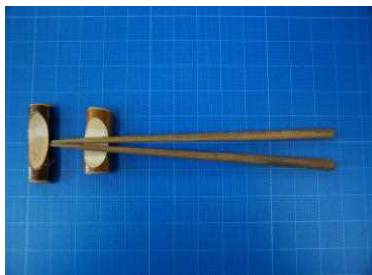
四万十市役所の担当者からは「ふれあいセンターのブースは人で溢れてものすごかったですね。一番人気をさらっていました。産業祭を大いに盛り上げてくれてありがとうございます。」と褒められました。

このような地域行事への参加は、地域との結びつきを深めるとともに四国森林管理局の果たしている役割や仕事のPRにもつながり、木の温もりや森林の大切さを伝えられた晩秋の一日となりました。

体験コーナーの様子



クリスマスリース完成したよ



◇マイ箸作り◇

よくできた方には箸置きをプレゼント

滑床山裸地化植生回復PR看板を建て替えました

10月28日に、滑床山裸地化植生回復地に設置していたPR看板の枠木が老朽化して壊れていたことから建て替えました。



滑床山シカ防護ネットを新設しました

10月29日から11月1日の間で、裸地化が目立つ滑床山2067林班（八面山の北西斜面のギャップ）にシカ防護ネット柵（面積1.21ha、ネット延長約482m）を設置しました。

この結果、これまでに設置したシカ防護ネット柵は面積8.43ha、延長5,215mとなりました。

作業の状況



シカ防護ネット柵の効果

ネットで囲んだ所はシカに樹皮や下層植生を食べられたりしないことから、ネット設置から数年経過すると、植生が衰退していた箇所でもミヤコザサ等の植生が徐々に回復しています。

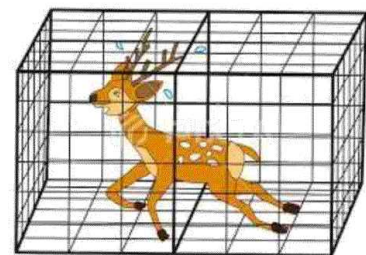


設置後 11 年経過



設置後 6 年経過

ニホンジカの捕獲状況



pixta.jp - 26018279

当センターでは、高知県四万十市の黒尊山国有林、愛媛県松野町の目黒山、宇和島市の滑床山国有林において、大型・中型・小型の囲いワナ、合計17基を設置して、森林への被害が少しでも減少することを期待し、ニホンジカの頭数調整に取り組んでいます。

黒尊山 6 林班 中型囲いワナで捕獲



令和元年度シカ捕獲実績 (令和元年12月末現在)

捕獲場所 	合計
黒尊山国有林(高知県)	12
目黒・滑床山国有林(愛媛県)	4
 合計	16 



林野庁 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

